

1～6 学年 指導案(45分) 概略

1 学年

題材名	概略	板書
<p>すきなものだけたべないで</p> <p>「すきなものだけたべないで」の紙芝居で食べ残された食べ物の話し合いをとおして、好き嫌いの理由を考え、色々な食べ物の働きを知る事で、毎日を元気に過ごすために、苦手な食べ物も進んで食べようとする意欲を持つことができるようにする。</p>		
<p>きゅうしょくしつのだんけんをしよう</p> <p>学校給食の機械器具や調理作業について知らせることで学校給食への興味・関心を高め、学校給食を作るための給食調理員の作業を理解することで、給食を好き嫌いしないで食べようとする態度を育てることができるようにする。</p>		

2 学年

題材名	概略	板書
<p>食じのマナーを考えよう</p> <p>マナーを守って食べることは、集団で心地よく食事をするときにはとても大切であることを理解し、食事のマナーを守り、楽しい雰囲気の中で食べようとするができるようにする。</p>		
<p>やさいとなかよしになろう</p> <p>給食に沢山の野菜が使用されていることを知り、「やさいとなかよしになろう」の紙芝居から野菜の働きについて理解することにより、健康のために野菜を食べようとするができるようにする。</p>		

元気な毎日は朝ごはんから

朝食を食べることで体や脳が目覚めることや、排便につながることを知らせ、朝食をとることの大切さを理解させ、朝食を食べるために気をつける事について考えさせ、朝食をしっかりと食べて元気に過ごすことができるようにする。



3つのグループ(3色食品群)の食べものを食べよう

3つのグループの働きを理解し、給食に使用している食品を黄・赤・緑に分けることでバランスの良い食事のとり方について理解させ、好き嫌いしないで、栄養バランスの良い食事を食べようという意識を高める事ができるようにする。



3 学年

題材名 概略

ほねをじょうぶにする食べものをとろう カルシウムの摂取が少ないと骨の中がスカスカ(骨粗鬆症)の状態になる原因の一つになり、骨折しやすくなることを知らせ、カルシウムの多い食品を積極的に摂ろうとする意欲を育てることができるようにする。

板書



4 学年

題材名 概略

野菜をしっかり食べよう 野菜の働きについて理解し、野菜が十分に体の調子を整える働きをするためには1回の食事で100gの野菜をとることがよいことを知らせ、100gの野菜をとるための調理法や食べ方について考え、進んで野菜を食べようとする意欲を持たせることができるようにする。

板書



きょう土料理を大切にしよう

昔から受け継がれてきた地域の暮らしに根差した料理が郷土料理であることを理解し、郷土料理に興味・関心を高め、地元の郷土の料理に対する誇りを持つことで、日本の食文化を大切にしようという意識を育てることができるようになる。

外国から来た料理について知ろう

インドのカレーと日本のカレーライスの違いを考えることを通して日本とインドの気候、風土、食文化の違いに気づかせることから、外国から入ってきた料理がその国の気候風土や歴史により形作られたものである事を理解できるようにする。

5 学年

題材名 概略

魚を食べて元気に過ごそう
給食で食べている魚の名前や特徴を知ること、魚についての興味・関心を高めさせる。また、魚に含まれる脂質は血液をサラサラにして動脈硬化を予防するはたらきがあり、心臓病や脳卒中などの予防に役立つことも知らせ、魚を進んで食べようとする意欲を養うことができるようにする。

板書

題材名 概略

長生きと食事(徳川将軍の食事)
 3人の徳川将軍の食事を比較することにより長生きするためには、栄養バランスのとれた食事をとることが大切である事に気付かせる。そして、栄養バランスのとれた給食を残さずに進んで食べる態度を育てることができるようになる。

板書



朝食の大切さを知ろう

朝食を食べるとどんないい事があるかを考えさせることから、朝食を食べると体、脳、排便のスイッチが入ることについてデータを基に知らせることにより、進んで朝食を食べようという意欲が生まれるようにしたい。また、栄養のバランスのよい朝食について理解させ、健康を考えた食事を食べる意欲を持たせることができるようにする。

